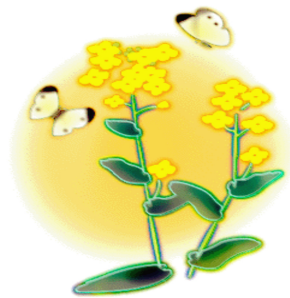


すなお

平成31年3月号



明治二十七年二月十四日

おやのことば
互い扶け合いやと、口で言うばかりなら、扶け合いとは言えようまい。真の心からの互い扶け合いは一度に受け取る。

ここ最近、テレビの話題によくのぼるのが、「児童虐待」に関する報道です。私は以前からそうした子育てプログラムを大教会で聞かせて頂いた後、早速に講師の資格を取得し講座を開催して活動をしてきました。

そして、先月末に本部の里親連盟が主体となつて開発された「天理教里親子育てアプローチ」の講師の資格を新たに取得しました。当面は教会関係の場所です。講座を開催し、この子育て方法の啓蒙活動をまずはしていきたいと思っています。その後、社会の中で虐待をされた子供、更に虐待しておたすけ活動に進んでいきたいと思っています。

私は宇和島での布教道中に親会長さんより「布教の最初はともかくひのきしんや。相手に尽くすところから始めるんや。」とよく聞かされて頂きました。当時の状況と現在の状況は大きく様変わりしていますので、同じようなひのきしんは出来ないと思います。さらにおたすけさせて頂くからと言って神様の教理から入っていいか？というところはまたなかなか難しいことだと思います。（次ページへ）

会長

教会ニュース

学生生徒修養会参加報告

今月3日から9日まで本部で開催されました学生生徒修養会大学の部に二宮元輝さんが参加されました。（参加感想前ページ参照）

大教会青年づとめ終了

一昨年の3月より中和大教会の青年づとめをしておりました二宮真悟さんが先月末をもって終了させて頂きました。1年目は2人で2年目は1人でしたが、神様を目標に最後まで熱心につとめ切ってくれました。今後は大阪の専門学校に行かせて頂き、教会の御用に繋がる勉強と修行をして来てくれます。

婦人会創立110周年 日々の理御供 報告

2月には52,600円を上級葛城へ運ばせて頂きました。2020年4月までつとめさせて頂きますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

瀬戸路分教会エコプロジェクト ～太陽光発電状況～

2月17日検針で1145kWh発電し、44,517円の売電金額となりました。

累計92,765kWh、3,634,588円の総売電金額となりました。

すなお (立教182年3月号)

通巻 No.704
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2019.3.16
責任者 二宮英治

そこで今、社会に求められている子育て方法を伝え、共に悩みを共有するために時間と心を尽くし、おたすけをさせて頂く時機が来ていると思います。皆さんの中には「子育ては教えるものではない。」と思われる方も多いと思いますが、最近は、結婚後親と同居することが少なく、ある意味では夫婦で自由に暮らしているのですが、子育てが始まると本当は知らないことだらけな訳です。昔は三世代、四世代同居も多くおじいちゃん、おばあちゃんから教えてもらったり助けてもらったりしながら実は子育てをしていたのです。学生時代に子育ての勉強はもちろんしません。そして、親になったとたん子育ては出来るもの。出来なかったり失敗すると周囲から責められるという時代になっています。もちろん百パーセントの子育てなんか存在しません、私達が関わることによって最悪の事態になることは避けられるのではないのでしょうか？

ようぼくである私達が今出来る大きなおたすけの一つではないでしょうか？そしてこれは求められていることです。今後、私が講師としてあちこちに行かせて頂きます。そして、研修を重ねおたすけにかかっていく上にしっかりと勉強と努力を重ねていきますので、どうか様々な形・場所で力を添えて頂きたいと思っています。それから内容について聞きたいことがあればいつでもお尋ね下さい。よろしく願います。



「登る道筋千筋も」

二宮真悟

何をするかよりも、どんな心で日々勤めるかが大切だと思います。形は人それぞれです。こうしないと駄目なんてことはこれっぽっちもないです。どこを通っていてもいいと思います。だから僕は僕の好きな道を選びます。

大教会青年を終えまして、次は2年間建設の専門学校で造園分野を学びに行きます。たのしみです。



『情理のバランスを学んだ学修』

二宮元輝

3月3日～3月9日までおちばで開催された春の学生生徒修養会に参加してきました。一週間という短い時間でしたが、たくさんの行事がありました。朝夕のおつとめに参拝したり、先生方から講話を聞かせてもらったり、プログ（次ページへ）

ラムの最後には大阪で路傍講演と神名流しをさせていただきました。この学修を通して僕が学ばせてもらったことや得た気づきを少しでも書かせてもらおうと思います。

一番痛感したのは、僕が社会に出てお道を信仰していく上で『情理のバランス』が不可欠な要素であるということ。元々僕は勉強好きなので教祖の教えや三原典を『理論』や『理屈』として理解するのは得意ですし、楽しめします。

学修中にディスカッションの時間が何度かありました。そこで天理教についての疑問や考えを班員と共有し、白熱した議論を交わすことができました。逆に、僕は自分の思いを訴えかけたり素直に表現することが不得意なんです。（友達にはよく冷めてるとか言われますね）僕は『感情』や『思い』を伝えることに人一倍不器用な性格なんだと思います。だから、学修に設けられた『路傍講演』や『パンフレット配り』はできればしたくない行事No1でした。

でも、班員のみんなとにをいがけについて熱く語ったり、カウンセラーさんににをいがけについて教えてもらう過程で重要なことに気づきを得ました。

それが、『理論』や『理屈』だけで御用をするのではなく『素直な思い』や『助かってもらいたいという気持ち』を大切にしてお道の実践をしていくということ。

この気づきを意識しながら大阪で路傍講演をしました。そのおかげかどうか分かりませんが、何人か立ち止まって聞いて下さる方がいてとても嬉しかったです。今回のにをいがけが直接的なおたすけにつながったかどうかは分かりません。しかし、お道の信仰者として、また、一人の人間としてもっと成長していきたいなと思えた学修でした。これからも『情理のバランス』を大切に日々の生活を送ろうと思います。



すなおの編集員になりました

曾我部健二

お気づきの方もいるかもしれませんが、先月のすなおから編集を担当することになりました。会長さんから連絡があり、「編集をお願いできないだろうか」と言われたのですが、丁重にお断りさせていただきました。

でも、数日考えて「神様のご用であり、徳積みをさせてもらおう」と思い、会長さんに「まだ、編集者が決まっていないうなら、させていただきます。」と連絡させて頂き、編集をすることになりました。

【新しい企画を募集します】

すなおに掲載する企画を募集します。何かアイデアが浮かんだ方は、どんどん応募ください。